

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
2022年度第5回(7月)理事会議事録

- ◇ 日 時： 2022年7月14日(木) 19時00分～20時30分
- ◇ 会 場： Web会議併用(公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所)
- ◇ 出席者： (事務所参加) 増田、山西、上田、梶、安保、山田、岡本、谷川、上地、
赤木、喜舎場、佐藤、竹村、藪、豊田、是永、堀田、柴監事、井戸田監事、
高田参与、竹浦参与
(Web参加) 久保田
- ◇ 議 長： 増田
本理事会はZoom会議システムを用いて理事会を開催する旨を宣言し、意見表明が互いにできることを確認し議案の審議に入った。

【 討議内容 】

I. 行動報告(6月分)

- 6月7日 学術部会
(事務所参加) 増田、安保
(Web参加) 井戸田、上田
- 6月9日 第3回理事会
(事務所参加) 高田、井戸田、杉山、増田、田畑、山西、安保、梶、山田、谷川、岡本、
上地、赤木、荒木、柴、竹浦
(Web参加) 久保田、井口、上田、中尾
- 6月10日 第71回日本医学検査学会 第21回実行委員会
(事務所参加) 高田、井戸田、杉山、増田、田畑、山西、安保、梶、山田、上田、赤木、
荒木、竹浦
(Web参加) 久保田、井口、谷川、中尾、上地
- 6月11日 2022年度新人研修会
(事務所参加) 高田、増田、田畑、安保、谷川
(Web参加)
- 6月11日 日臨技執行理事会議
竹浦
- 6月15日 総務庶務・広報・会計部会
(事務所参加) 井戸田、杉山、梶、山田、中尾、上地
(Web参加) 久保田、谷川
- 6月16日 2022年度総会
高田、井戸田、杉山、増田、田畑、山西、安保、梶、山田、久保田、井口、上田、谷川、
岡本、山本、上地、赤木、中尾、荒木、柴、竹浦、堀田、藪、喜舎場、豊田、佐藤、是永
- 6月16日 第4回理事会
増田、山西、上田、梶、安保、山田、久保田、谷川、岡本、上地、赤木、堀田、藪、喜舎場、

- 豊田、佐藤、薮、是永、柴、井戸田
- 6月17日 組織部会
(Web参加) 増田、上田、谷川、薮、喜舎場、堀田、是永
- 6月18日 大阪府立大学校友会 評議員会
(Web参加) 増田
- 6月21日 渉外部会
(事務所参加) 岡本、上田
(Web参加) 増田、喜舎場
- 6月22日 大阪府健康医療部保健医療室感染症対策企画課 (小西・宮下) 面談
(病院面談) 増田
- 6月22日 常務理事会
(事務所参加) 増田、山西、上田、梶、安保
(Web参加) 久保田、山田
- 6月24日 精度管理部会
(事務所参加) 山西、竹村、杉山
(Web参加) 増田、是永
- 6月25日 日臨技理事会
竹浦、高田
- 6月25日 日臨技定時総会
高田
- 6月30日 大阪市衛生検査所精度管理専門委員会
(事務所参加) 高田
(Web参加) 井戸田、久保田、岡本、竹村

II. 経過報告

1. 事務局

〈総務庶務部〉(報告者：梶副会長) 6月15日(水) Web会議併用にて開催した。

1. 2022年度定時総会について最終確認をした。
2. 2022年度会報(第208号)発行について検討した。
3. Xドライブ使用について検討した。
4. 旧大臨技ホームページ整備について検討した。
5. 会員専用ページ整備について検討した。
6. トランクルーム利用について検討した。
7. 2021年度事業報告を電子申請した。
8. 役員変更届を大阪法務局に申請した。

〈広報編集部〉(報告者：山田常務理事) 6月15日(水) Web会議併用にて開催した。

- 大臨技ニュース6月号Web版を発行した。
大臨技ニュース7月号(第402号)の編集作業を行った。
ホームページの更新を随時行った。

2. 財務局

〈会計部〉（報告者：久保田常務理事）6月15日（水）Web会議併用にて開催した。

- ・5月度収支決算書を作成し、詳細を確認した。
- ・事務員6月分給与を支給した。

3. 事業局

〈渉外部〉（報告者：上田副会長）6月21日（火）Web会議併用にて開催した。

1. 吹田市健康展について進捗を確認した。
2. 2022年度大臨技大放技合同フォーラムについて検討した。
3. 2022年度夏季献血推進活動（通算第58回）について検討した。
4. 手話講演会/講習会について検討した。
5. （仮）疾患予防講演会の開催方法、テーマについて検討した。
6. 2022年度、2023年度大臨技役員新体制について報告した。
7. 理事会報告を行った。

〈組織部〉（報告者：上田副会長）6月17日（金）Web会議をした。

- ・新体制下での理事の担当分担ならびに事業について説明
- ・6/11 新人研修会開催報告（参加者29名）
- ・7/9 教育セミナー役割分担の確認

〈精度管理部〉（報告者：山西常務理事）6月24日（金）会議をした。

2022、2023年度 大臨技組織体制について説明した。今年度の実務統計セミナーの日程と内容について説明した。

今年度の標準化サーベイの目標値について討議した。

〈学術部〉（報告者：安保常務理事）6月7日（火）Web会議併用にて開催した。

第71回日本医学検査学会の振り返りを行った（今後の課題、アンケート依頼、一般演題の質問、残コングレバッグの有効利用など）。

今後の事業開催方法について検討した（参加費の運用、対面開催、ハイブリッド開催など）。
理事会報告を行った。

III. 報告事項

1. 職務執行状況報告について（会長・副会長・常務理事）

- ・増田会長、梶副会長、山西副会長、上田副会長、山田常務理事、安保常務理事より職務執行状況についてそれぞれ報告が行われた。
- ・2022年6月における役員行動報告・役員各部報告があった。

2. 2022年度6月事業開催状況報告について（梶副会長）

- ・上記について資料が示され確認した。
- ・参加者人数が少なくなっているため広報部で協力できないか提案があった。

3. 後援申請の結果通知について（梶副会長）

- ・6月10日付けで後援申請依頼のあったビー・エム・エル社へ返信した決定通知書が示された。

4. 新理事に対して公益法人の理事とは（梶副会長）

- ・参考資料が示されて新理事に確認をお願いした。
- ・公益認定の取り消しがある場合もあるので理事は自覚を持って行動し、会員の代表であって

ボランティアではないということの認識を持つようにと話があった。

- ・理事会の出席率が次期候補者の選出条件のひとつになると報告された。
- ・Web 会議では招集通知にあるように常に意見表明が互いにできる状況にあるということが再確認された。

5. 収支相償に対応するための剰余金の取扱いについて（山西副会長）

- ・2021 年度事業報告で遊休財産保有上限額が 11,859,165 円であるのに対し 21,554,365 円であり不適合のため対応策が求められている。
- ・解消策として大臨技医学検査学会の参加費を減額することにより 5 年間で 3,000 千円、「全国検査と健康展」に経費充当することにより 5 年間で 2,500 千円、2025 年の大阪万国博覧会に 2,500 千円経費充当することにより合計およそ 8,000 千円解消する見通しであることを大阪府に申請したと報告された。
- ・2025 年の大阪万国博覧会は新しい事業なので事前に大阪府に報告して承認をもらうように柴監事より提言があった。

6. 2022 年度会報発行について（山田常務理事）

- ・総務庶務・広報編集・会計部で会報を作成している。
- ・委員名簿に変更がないか確認をお願いした。

7. 大臨技定例会議予定日について（梶副会長）

- ・新理事へ定例会の日程の確認をお願いした。
- ・次回の理事会は 8 月 10 日開催となる。

8. 府民健康フォーラムと大臨技大放技合同フォーラムの経過報告（岡本理）

- ・府民健康フォーラムは 2022 年 12 月 18 日 Web 開催を予定しているがコロナ感染症に落ち着きが見られれば薬剤師会館で会場開催にて行う。テーマは「感染症」である。
- ・大臨技大放技合同フォーラムは 2023 年 1 月 21 日大阪府医師協同組合で開催予定。テーマは「弁膜症」である。

9. 第 71 回日本医学検査学会 in 大阪 学会報告会について（上地理事）

- ・2022 年 7 月 16 日 18 時 30 分からホテルロイヤルクラシック大阪で行う。
- ・受付担当やお土産の袋詰めの協力をお願いした。
- ・8 人テーブルに 4 人で着席する。

7. その他

(i) タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会について（谷川理事）

- ・9 月 11 日開催分はすでに満席である。
- ・10 月 23 日開催分は 8 月 23 日から募集する。（講習会は開催 2 か月前から募集することになっている。）
- ・次回は 7 月 30 日に開催する。
- ・講習会の参加予定者のキャンセルが多ければ講習会の開催を中止するが今のところは 7 月 30 日は開催する予定である。

IV. 議 題

1. 新体制について（増田会長）

- ・2022 年 6 月 16 日に会長より提案された各部への懸案事項と役員の担当部署が再度確認され、

承認された。

2. 副会長業務について（上田副会長）
 - ・委嘱状の集約を上田副会長、精度管理部の業務を山西副会長が行うことで承認された。
3. 後援・共催の基本ルールについて（増田会長）
 - ・後援については賛助会員、医療関係の関連団体は承認する。それ以外の依頼はその都度理事会で検討する。
 - ・共催について賛助会員は認められない。関連団体や賛助会員で依頼があった場合は理事会で検討する。
 - ・糖尿病療養部門のメーカーの共催についても費用負担で協力してもらってるが今後検討する必要がある。
 - ・「主催・共催・協賛・後援取扱内規」に記載された内容についてももう一度総務部で検討する。
4. 財務会計勉強会について（柴監事）
 - ・公益認定申請当時の状況を知る役員が多く退任したことや 2021 年度決算で収支相償・遊休財産保有制限が不適合になっているために柴監事より勉強会の提案がされた。
 - ・勉強会は 8 月 25 日（木）19 時から Zoom と併用で行うことが決まった。
5. 2022 年度役員就任挨拶状について（上地理事）
 - ・上記について内容が提示され確認をおこなった。
 - ・修正がある場合は明日までにメールで知らせる。
6. 令和 4 年度公衆衛生事業功労者に対する一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰候補者の推薦について（梶副会長）
 - ・締め切りの都合上、常務理事会で増田会長と山西副会長を推薦することが決まりすでに推薦状が提出されていると報告され承認された。
7. 第 51 回医療功労賞（国内部門）候補者の推薦について（梶副会長）
 - ・表彰対象者が過疎地域や離島、被災地など困難な環境下のもとに携わっている医療従事者で例年該当とされる候補者がいない。
 - ・候補者がいれば梶副会長に連絡する。
8. 令和 4 年度第 1 回大阪府地域医療推進協議会について（増田会長）
 - ・7 月 22 日（金）開催の上記については増田会長、上田副会長、梶副会長が参加する。
 - ・今年度は大臨技からの要望はなしとのことで報告された。
 - ・今回の協議会に参加し状況を把握して次年度以降の要望につなげる。
9. 大臨技マイページのログイン方法について（山田常務理事）
 - ・大臨技 HP に会員マイページが作成されて電子会員証が表示されることになった。
 - ・電子会員証には会員番号と氏名が表示され、初期設定の方法が示された。
 - ・今後マイページで研修会の資料配布ができないかなど検討している。
 - ・従来の紙製会員証は次年度からは発行せず今年度配布した会員証を永久会員証として保持してもらう。
 - ・8 月号ニュースに案内を掲載する。
10. レンタルスペースの利用について（山田常務理事）
 - ・事務所に学会から持ち帰ったコングレスバッグや備品、タスクシフト用の備品のダンボールがたくさんあり事務所を会議室に利用するには見栄えも悪く不便でもあるのでレンタルスペースを借りてはどうかと検討された。
 - ・レンタルスペースに公益事業のものを保管するのであればレンタル費用を公益として計上できる。

- ・まず事務所のキャビネット内の不要物などを処分しその後レンタルスペースについて検討する。

11. その他

(i) 生理検査部門の研修会における参加費徴収について（北岡）

- ・研修会の参加費徴収は基本的に Passmarket を利用することになっているが生理検査部門で実技・オンデマンド配信の研修会においての参加費徴収を生理検査部門の口座で徴収した。
- ・PassMarket を利用する場合は会員・非会員の確認をできるが部門口座で参加費徴収を行うとそれを確認できないので研修会を行う場合は原則 Passmarket を利用する。
- ・今後、現地開催での研修会を行う場合も当日用の Passmarket を作成することなど会計マニュアルに記載する。